

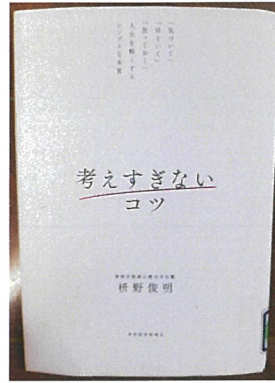
図書館だより 8月号

令和7年 8月 1日発行
王滝村教育委員会
村民図書館
TEL:48-2134

図書館利用時間:平日(開校日)午前8時~午後4時

8月の「読書会」はお休みです。次回は、9月11日の予定です。

横浜市鶴見区にある建功寺の住職である
柘野氏は、多くの本を出版されています。
この本も、短い「法話」のようなお話が五
〇編近くありますので、どのページを開い
てもすぐに頭に入ってきます。
・一休さんは空気を読めない人だった？
・良寛さんはコミュ障だった？
・西行さんは、煩惱まみれだった？
・「ありがたさ」の味を知る
などと、副題がついていますが、「え？」と
思わせる面白さです。
私のツボにはまったのは、一休さんの次
のエピソードです。



曹洞宗徳雄山建功寺住職

柘野 俊明

出版社：東洋経済新報社

七月の読書会には、七名が参加しました。
村へ着任して以来、三か月になる「地域
おこし協力隊」の森岡直子さんが初めて参
加しました。森岡さんが現在読んでいる本
の紹介もありましたが、それより「協力隊
って、何してるの？」のような素朴な質問
がたくさん出て盛り上がりました。また、
別の参加者から次の本が紹介されました。

八十七歳まで生きた一休さんは、亡くな
るとき弟子たちに「私の亡き後、どうしても
困ったことがあったら開けなさい」と、一通
の封筒を渡します。数年後、困ったことがあ
ったのでしよう。弟子たちが集まって封筒
を開けます。そこには、
「心配するな、大丈夫、なんとかなる」
と、書かれた紙が入っていただけでした。
拍子抜けした弟子たちは、腹を抱えて笑っ
てしまったそうです。
こんな話がいくつも出てきます。

図書館にありますから、お暇なとき、立ち
寄って手に取って開いてみてください。肩
の力が抜けるかも…です。

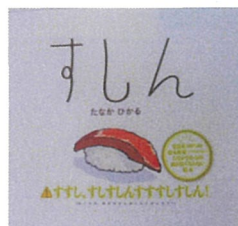
さて、話は前後しますが、本から離れての
雑談の折、『百草』の話になりました。三岳
の手前に長野県製菓の工場があります。「ど
うやって作っているんだろう」「何が入って
いるんだろう?」「私も興味津々!」という
声が続出しました。で、ダメもとで図々しく
工場見学をお願いしてみました。現在は、中
止しているとのことでしたが、特別に、見学
させてもらえることになり、早速、七月二十
九日に七人で行ってまいりました。
王滝村を代表する特産物「百草」の製造工
程見学は、大変興味深いものとなりました。
後日、紙面に余裕がある時に、またご報告い
たします。

S・N

リクエスト本のコーナー



著: チョーヒカル
出版社:
PHP にこにこ絵本



著: たなかひかる
出版社: ポプラ社

夏休みの図書館開館

8月6日(水)9:00~12:00

20日(水) //

21日(木) //

◎本のリクエストは随時、受け付けて
います。

面白いから
読んでね(^^♪



リクエストしたら
すぐ入ったよ♪